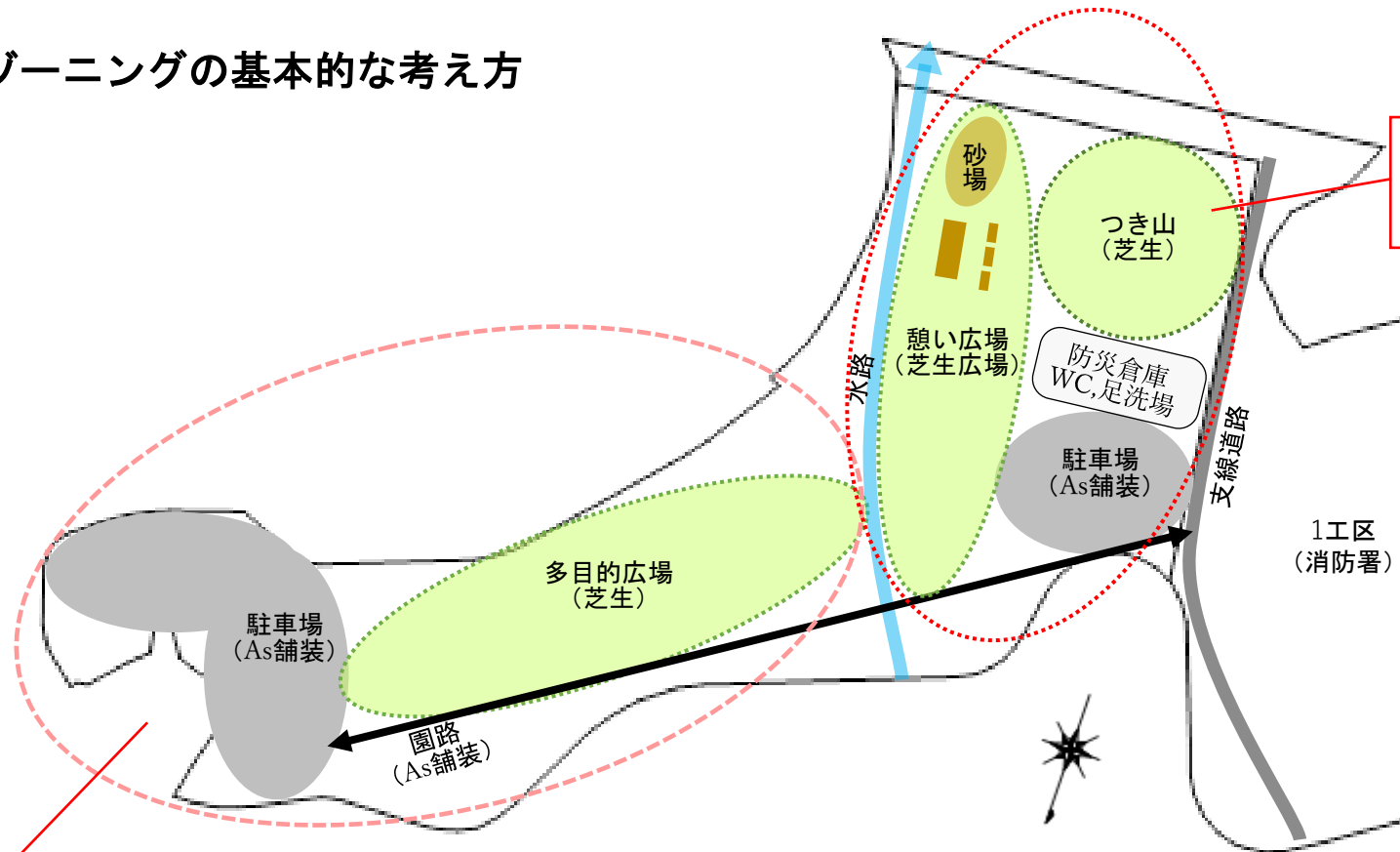


## ■ ゾーニングの基本的な考え方



子どもの遊び場や幅広い世代がくつろげる「憩いゾーン」

### ○子どもの遊び場や幅広い世代がくつろげる「憩いゾーン」

- ・つき山（余盛土等処理）や芝生広場を配置して、子どもの遊び場や幅広い世代がくつろげる憩いの場とする。
- ・子どもが遊具がなくてもおもいきり遊べるようにつき山へ芝すべりの機能を導入する。
- ・休養施設として東屋及びベンチを設置する。

#### 【主な導入施設】

- ・園路広場（芝生広場、園路）
- ・修景施設（つき山）
- ・休養施設（東屋、ベンチ）
- ・遊戯施設（つき山での芝すべり）
- ・便益施設（駐車場、水飲み場、トイレ、足洗い場）
- ・管理施設（照明設備）

様々なイベント利用やキャンプ利用など多種多様な利用が可能な「多目的利用ゾーン」

### ○様々なイベント利用やキャンプ利用など多種多様な利用が可能な「多目的利用ゾーン」

- ・芝生＋土系舗装の多目的広場を配置して、様々なイベント利用やキャンプ利用（オートキャンプ、BBQ、RVパーク等）など多種多様な利用が可能な場とする。

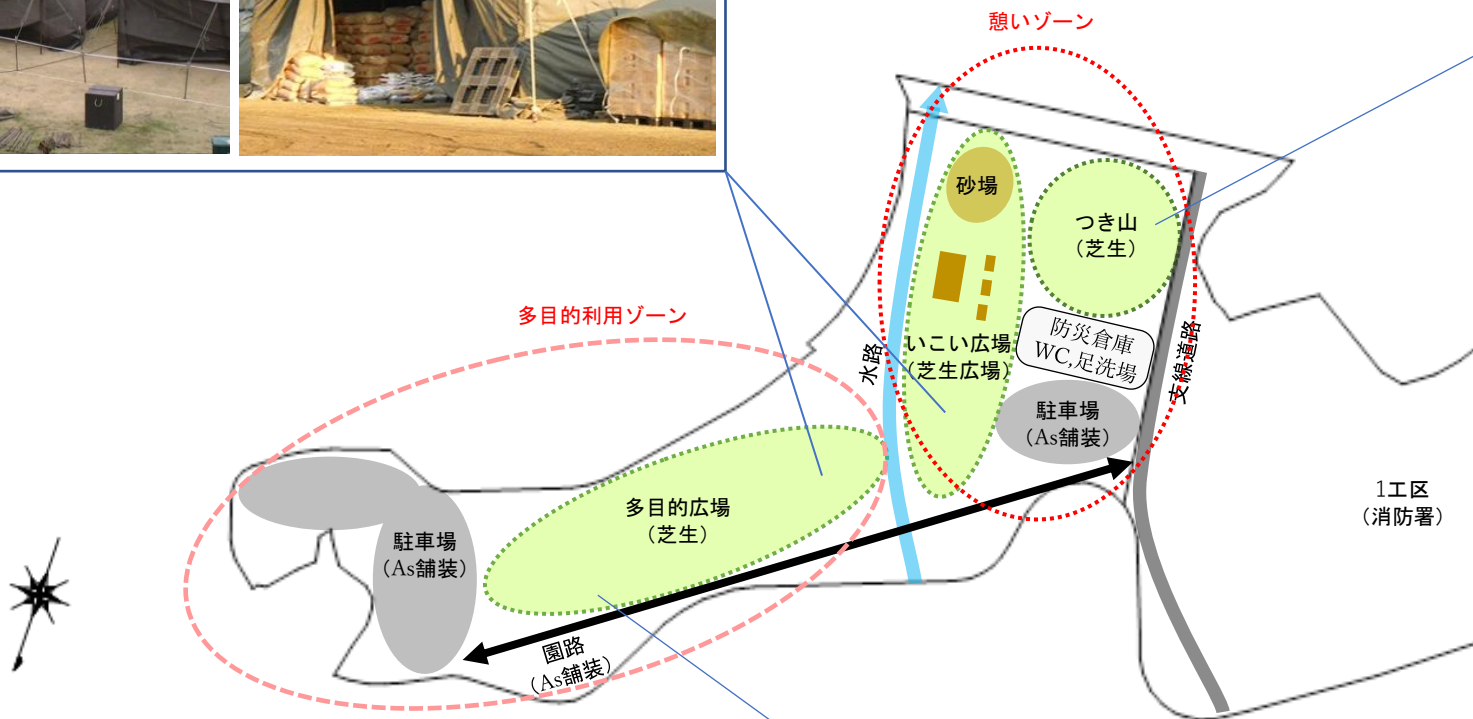
#### 【主な導入施設】

- ・園路広場（芝生広場、園路）
- ・便益施設（駐車場）
- ・管理施設（照明設備）

災害時における拠点（物資集積・テント野営等）のイメージ



つき山、芝すべりのイメージ



多目的利用の一例

子ども向けイベント



マルシェ、フリマ



ドッグランイベント



ドローン講習会



オートキャンプ



RVパーク

